

けやの森の教育

生きいきと それぞれに 生きいきと

生きる力を育む 自然の教育

H21.4.1

自己実現

自分の思いや考えを形にする。
幸せとは、与えられた生命を精一杯
発揮し、社会に生かすこと。
活動を通して生きていることのすば
らしさを実感すること。

よりよく生きようとする

自分の意見をはっきりと
もつことができる

挑戦・進歩・発展

なぜ？ どうして？ と真実を探索し、
常に考え工夫し、新たな方策を編み出す。

物事を計画し最後までやりとげる

生きる力

人生をいかに生きるかを体験により
学び生かすことができる。

相手の気持ちを理解し話し合うことができる

交換・認識

子どもが人や事物にぶつかり、
やりとりしながら理解を深める。

達成感・充実感

困難を克服し、心が満たされるとそれが
次のステップへの意欲につながる。

協力して成しとげるよこびがわかる

感性

子どもはさまざまな体験により感
性を開花する。感性は大人の適切な
配慮や支援により情操にまで高め
られる。
特に自然はその柔軟性、関係性、浸
透性、多感覚性、構築性、物語性、
日常性などの絶妙なバランスの上
に成り立っており、体験すること
によって人間としての基本的な感情、
宗教的情操を培う。

自分の気持ちをことばで表すことができる

社会のルールを知る

自然との親しみ方を知る
自然のふしぎに感動する

生活の習慣がきちんと身につく

体験

体験は脳幹を刺激し、生きようとする力を生みだす。

父母会・父の会

お父さん、お母さんが先
づ、子どもとかかわり園生
活を楽しみ学びます

- ① 日々の保育や行事の
援助
- ② 子どもの新しい環境
づくり
- ③ 父母同士がかかわり
学ぶ

冒険活動

自然の中では思わぬ
困難に遭遇します。し
かしその困難があっ
てはじめて、楽しい生
活をつみだす力がわ
いてくるのです

- ① 夏のひとりだち
キャンプ
- ② スノーキャンプ

伝統行事

日本のよき文化を体験し
次代に伝えます

子どもの日、七夕、敬老の日、
正月、節分、ひなまつりなど

宗教的行事

この世の中で最も尊いことは
与えられた生命を生かすこと。
全うすること。
花まつり、成道会、ねはん会を
通じてご父母も一緒に考えます

表現活動

いろいろな体験をするか
ら、伝えたいことがあふれて
きます

- ① 身近な動物や自然の現
象を身体で表現する
- ② 染物、織物、木工、粘
土、焼き物など自然の
素材で表現を楽しむ
- ③ うた、劇、舞踊、運動、
手品など自分の想いを
形にする

食育・農育

生きいきとした体にするた
めに、体によい食べ物をつ
くり、食することを学びます

木育

木を育て、その営みを見守
ることによって、木の価値
や役割を知り、木と共に生
きることを学びます

日々のあそび

その子のアイデンティティーは日々のあそびの中にある柔軟性、関係性、浸透性、多感覚性、構築性、物語性、日常性などの複雑で豊かな環境によって生まれます。

砂あそび、どろんこ遊び、水遊び、草や花で色水遊び、ザリガニつり、粘土遊び、みみずとり、虫さがし、種あつめ、ドングリ戦争、
焼いもパーティー、ままごと、ボールあそび、鬼ごっこ、ターザンごっこ、伝承遊び、基地づくり、縄とび、一輪車のり、ダンス……

集会

よりよい生活をつくるた
めに自由に発言し、責任をも
って行動します

- ・日々起こった問題を話し合う
- ・生活の評価と提案
- ・朝の会の自由発表
- ・帰りの会の振り返り

異年齢（縦割）の生活

ペアさんにお世話してもらうことで、
生活がスムーズに流れていきます

- ・多様な人間関係の中で相手を思いやる気
持ちは芽生える
- ・社会の中で自然に自分の役割が生まれる
- ・集会で提案されたことを話し合い生活を
形づくる
- ・ペア、グループ、クラスなど身近な人に
あこがれや思慕の情を抱く

自然の遊び

四季折々の自然にふれて、さまざま
な自然の不思議に出会うことが
できます

- ・樹木に囲まれた園庭のあそび
- ・広大な林のあそび
- ・春秋のプレイデイ（親子のあそび）
- ・遠足、山歩き
- ・川のあそび
- ・カヌー

生産と労働の生活

モノをつみだす苦労と
よこびを味わいます

- ・じゃがいも、さつまいもの栽培
- ・動植物の世話
- ・料理（収穫したものを食べる）
- ・販売（花の種や畑の収穫物を売
ってお金を得る）
- ・生活に必要な仕事をし、生活を
豊かにする